



第四十六回地域交流

スポーツ祭

室内ペタンク大会開催!!

令和八年六月二十八日（日）、『第四十六回地域交流スポーツ祭 室内ペタンク大会』が焼津市総合体育館メインアリーナにて開催されました。

一般の部・三世代の部・熟年の部の各二十六チームに加え、大井川心愛・漣チームとドリムゲート焼津チームがオーブン参加し、総勢四百五十二名が集いました。世代や地域を超えた交流が広がり、競技中も会場には笑顔と歓声が絶えず心温まり、スポーツを通じて育まれた交流の輪が、更に今後の地域づくりに繋がる大会となりました。



ブロック 優勝チーム



熟年の部				三世代の部				一般の部			
L	K	J	I	H	G	F	E	D	C	B	A
大富第十八自治会	豊田第八自治会	焼津第七自治会	小川第十二自治会	和田第二十二自治会	大富第二十自治会	焼津第七自治会	大富第十九自治会	大富第十八自治会	和田第二十二自治会	大富第十九自治会	港第二十三自治会



港第23自治会・大富第19自治会
和田第22自治会・大富第18自治会
(一般の部)

大富第十八自治会代表 大石 時久

一般の部 Dブロック 優勝チーム代表者コメント

地域交流スポーツ祭室内ペタンク大会に『大富第十八自治会』チームとして参加し、見事優勝を果たすことができました。今回の大会で最も心に残りましたのは、練習の時から本番の決勝に至るまで、勝敗にとらわれず相手チームの皆さんと一緒に、ゲームを心から楽しめたことだと思っています。

緊張することなく、いつも通りの自然体で伸び伸びとプレイできたのは、お互いを称え合う温かい雰囲気があったからこそだと思います。一投ごとに笑顔の輪が広がっていくコートの中は、本当に居心地が良く素晴らしい時間でした。スポーツの本来の楽しさと、爽やかな感動を共有してくださった参加者の皆さんに、心から感謝いたします。

三世代の部 Gブロック 優勝チーム代表者コメント

メンバーは小学校六年生の女子のお子さんとお母さんと私の三人です。

ペタンク競技は如何にしてボールをビュット付近に集めるかが勝負で、練習ではボールのリリースタイミングと速度コントロール、そしてビュット付近のボールの間を通すコース選択と技術等をチーム内で知恵を出し合い、修正しながら三日間の練習に励みました。

大会競技ですが、第一ゲームと第二ゲームを運よく連勝。第三ゲームは『一対四』と敗色が濃く、しかもフィールド内は、相手がビュットの前に横に二個立ちはだかる絶体絶命のピンチ。相手のボールを単純に押せば、相手の得点になる技術的に難しい場面で、お母さんの手から狙いを込めた最終シュートが放たれました。

ボールはゆつくりと転がり、相手のボールの横に薄く当たり、なんと相手の二個のボールを横にはじき出す、信じられないスーパーミラクルシュートになり三点を獲得し、引き分けに持ち込み優勝と、昨年二位のリベンジを果たすことができました。来年は連覇に挑戦します。



大富第二十自治会代表 阿部 好弘



大富第19自治会・焼津第7自治

大富第20自治会・和田第22自治会

(三世代の部)

熟年の部 ーブロック 優勝チーム代表者コメント

十二自治会では毎年ペタンク大会に向けて四回程度練習をしています。練習内容は、ビュットの手前に打球用サークルを置き、サークル内にボールを入れる練習や、試合形式での練習を行なっています。

選手は主に、いつもペタンク練習に出てくれる六十〜八十代の自治会の方と体育委員で構成されています。近年では三部門ともブロック優勝もしくは二位になることが多く、志太大会に出場する機会が増えてきています。年に二回試合をすることで経験値が上がり、また次の勝利に繋がっていると思います。



小川第12自治会・焼津第7自治会

豊田第8自治会・大富第18自治会

(熟年の部)

小川第十二自治会代表 寺岡 百子

試合が白熱してくると、試合を決める大事な一投を投げる緊張感や応援で大きな声を出したりもするので、健康的に楽しんでもらえていると思います。

選手の方の年齢確認をしてみると、『見た目若っ!』っていう方が多い気がします。

大会のあるなしに関わらず日頃から試合をしたり、体験出来る場を設けることや体育館への個人での移動が(免許返納のためなどで)難しい方への配慮等、焼津市民の健康寿命を伸ばすために運動が出来る環境作りが大切だと感じました。

